

# 新漢語水平考試作文問題の中国語教育への応用

加藤 宏紀

新HSKの過去問題や関連の問題集から、主要な文型や文法項目を整理し、4級と5級の各級における各種の難易度の観点から出題の傾向について分析を進めている。4級と5級のいずれでも出題頻度の高い文型である処置式(“把”字文)を例に説明する。

まず、並べ替える語数により、4級では、6語、7～8語、9～11語の3段階で区分があり、5級では、6～7語、8～9語の2段階で区分がある。次の(1)は4級の8語並べ替え、(2)は4級の11語並べ替え、(3)は5級の7語並べ替えである。

(1) 你 请 把 这张 打印 调查表 一下  
马上

(2) 自己的 标准 谁 也 把 经验 作为  
判断 的 对 错 不能

(3) 孩子 碎 把 镜子 摔 了 妈妈的

次に、各問題の関連文法事項を挙げる。(1)は(a)処置式の述語形式(V+“一下”)、(b)依頼の兼語文“请你…”、(c)量詞“张”の用法、(d)副詞

“马上”の位置の4項目である。(2)は(a)処置式の常用述語“作为”、(b)疑問詞+“也不”の全称表現、(c)助動詞“(不)能”の位置、(d)限定修飾成分の動詞句(“判断对错的”)の4項目である。(3)は(a)処置式の常用の述語形式になる動詞結果補語構造“摔碎”、(b)アスペクト助詞“了”の位置の2項目である。

最後に、(1)-(3)で使用された語彙の難易度は次のとおりである。

1級: 你, 请, 的, 谁, 不, 能, 了, 妈妈

2級: 张, 也, 对 (错), (对) 错, 孩子

3級: 把, 这, 马上, 自己,

4級: 调查 (表), 标准, 经验, 判断, 镜子

5級: 打印, 作为, 碎, 摔

6級: なし

等級区分なし: (调查) 表, 一下

今後は、このような分析を進めると同時に、実際の解答事例を基礎データとした誤答と照らし合わせながら、教育内容の改善に向けた考察を行う。

